

ブルームバーグ市長記者会見（4月26日午前11時30分）

ニューヨーク市内における豚インフルエンザ(Swine Flu)の発生

4月26日午前11時30分、ブルームバーグ市長ほかが行った記者会見の概要以下のとおり。

ブルームバーグ・ニューヨーク市長

- ・ CDC (the Center for Disease Control) はカトリック系の私立校であるセント・フランシス高校 (クイーンズ区) で採取された8人の検体を検査した結果、豚インフルエンザの陽性反応を確認した。
- ・ ニューヨークの症例は容態が穏やか (mild) で、多くは既に快復に向かっている。しかし、生徒たちの両親にもインフルエンザの症状が見られ、ヒトヒト感染が疑われる。
- ・ ニューヨーク市内で他にブロンクス区トレモント地区のデイケア施設で豚インフルエンザに似た症状の6人の児童を検査した結果、5人は豚インフルエンザの検査では陰性だった。残る一人は確認できなかったため再検査している。
- ・ またマンハッタン区で、最近メキシコを訪れたカップル一組とその子供二人が豚インフルエンザの検査を受けたが、結果は陰性だった。
- ・ 他のニューヨーク市内の学校は月曜日にも開校する。
- ・ 市民には手をよく洗い、咳をしたり鼻をかんだりするときは口や鼻を覆い、病気になったら家にいるといった常識的な用心をしてほしい。
- ・ 市当局は CDC と協力していく。市民は落ち着いて、しかし用心してほしい。
- ・ 米国のインフルエンザはたいていの場合穏やかで、病気でも医者に行くことは避けるべきだが、深刻な場合は別である。

フリーデン・ニューヨーク市衛生長官

- ・ セント・フランシス高校は27日(月)及び28日(火)は休校する。その後再開するかどうかは改めて決定する。
- ・ これまでのところインフルエンザはシティワイドには流行していないが、12時間ごとに患者の増減を確認していく。

シューマー上院議員

- ・ 連邦当局は検査し、メキシコをモニターし、その他の支援をしてニューヨーク市当局を手伝っている。

パターソン・ニューヨーク州知事（記者会見とは別にニュースでの報道）

- ・ 州知事は豚インフルエンザをモニターし対処 (treat) するよう州政府に指示した。
- ・ 豚インフルエンザに関する電話相談窓口を開設した。(1-800-808-1987)
- ・ 州政府は市当局に豚インフルエンザに有効と見られるタミフル1500本を送付した。